



民謡歌手・原田英昌先生が開いている船橋市の教室に、多古町の方が通っていたことがきっかけで、24年ほど前、多古町に民謡教室を開きました。現在は先生を含め9人で活動しており、先生が一人ひとり丁寧に指導をします。

『英昌会』では津軽三味線を弾く方が多く、練習の際にはカセットテープに録音し、自宅で聴きながら練習する方もいます。「指の感覚を忘れないように、毎日練習しています」と、皆さんとても練習熱心です。

歌い手に合わせ三味線や太鼓、尺八が加わると、より一層民謡が引き立てられます。合奏しているときも楽しそうで、曲が終わるたびに皆さんの達成感が伝わってきます。

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第49回 民謡サークル 『英昌会』

- ①活動歴 24年
- ②年齢層 20代～60代の男女
- ③活動場所 コミュニティプラザ第3研修室
- ④活動時間 毎月第1・2・3木曜日
17:30～22:00
- ⑤代表者 郡司菊江（ぐんじきくえ）
- ⑥連絡先 ☎76-2684

活動としては、月3回の練習のほか、民謡発表大会や病院への慰問などを行います。自分たちが楽しむことはもちろん、町の皆さんや入院されている方に喜んでいただけることは、民謡を続ける上でとても励みになるそうです。先生は「皆さんの一生懸命に民謡を習う姿勢や奏でる音を聴いていると、自分も勉強になります。民謡にはいくつかのジャンルがありますが、どのジャンルにも積極的に挑戦します」と話してくれました。

民謡は、普段耳にしている音楽とはだいぶ違いますが、聴いてみると、とても新鮮です。民謡を全く知らない方や民謡に少しでも興味がある方、見学だけでも結構です。ぜひ『英昌会』にお越しください。



編集 後記

★今月号では、この夏全国の舞台上で活躍した“あっぱれ”な中高生の皆さんを紹介いたしました。わたしが中高生のころは、身近に全国大会に出場する選手などほとんどいなく、近ごろの中高生たちの活躍は、本当にうれしい限りです★2年連続での取材となった高校生は、昨年と比べて表情や体つきが一段とたくましくなり、インタビューの受け答えも実に礼儀正しく堂々としたもので、わずか1年間でありますが、その成長ぶりを肌で感じることができました★わが子もこの先輩たちのようなスポーツ選手になつてくれるとうれしいのですが…。今のままですと、ちよつと無理かな。

★夏休みも終わって、子どものいる家庭では長い闘い？から解放され、ホツとしているはず。もちろんわが家でも★今年の夏休みは宿題についてかなりうるさく言つてしまい反省、怒られても怒鳴られても動じない子どもには完敗。叩いても響かず逆に振り回されてしまいました★休み中は食事も悩みの種に。お昼の心配もしなくてはならず、子どもたちは好き嫌いが多いため、これまた大変★学校に行っている間は『給食様』が子どもたちのために栄養を考えてくれて、とても助かります♥給食は何ととっても、母親の味方!! ですね。